

議案の紹介

今定例会に提出された議案22件のうち、21件が可決され成立しました。(4面の賛否一覧表をご参照ください) 以下、成立した議案の一部を紹介いたします。

平成二十一年度補正予算

○一般会計(補正予算項目)

- ・保護人員の増加、母子加算の復活等に伴い生活保護各種扶助費を追加するため、三十四億二千九十九万二千円を計上するもの
- ・新型インフルエンザワクチン接種について、国のワクチン接種基本方針を踏まえ、生活保護世帯と市民税非課税世帯の対象者

の接種費用の負担軽減を図るため、七億千六百三十三万二千円を計上するもの

条例など

○障害児通園施設条例の一部を改正する条例

大野田たんぼほりホームの位置を変更するもの

○精神障害者社会復帰施設条例の一部を改正する条例

精神障害者社会復帰施設の一部を改定するもの

○児童福祉施設条例の一部を改正する条例

新田児童館、荒町児童館及び雷沢児童館を設置するもの

○地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正するもの

改正する条例

北高森東地区計画の区域内の建築物に関する制限を定めるもの

○道路占用条例の一部を改正する条例

道路の占用料を改定するもの

○工事請負契約の締結に関する件

(仮称)仙台市宮城野区文化センター等新築電気設備工事(強電)・同文化センター等新築空調設備工事

○財産の処分に関する件

本市所有の土地を処分するもの

○指定管理者の指定に関する件

市民活動サポートセンター、泉文化創造センター、若林体育館等、障害者就労支援センター、通町児童館等、二日町駐車場等、七北田公園等の指定管理者を指定するもの

新しい翼

横田 匡人 議員

問 来年度の事業・予算編成計画の見直しについて

答 厳しい経済財政状況が続いているが、来年度の事業・予算編成の見直しについて伺う。

問 本年度の予算編成について

答 本年度の予算編成については国の新たな政策等に伴う不確定要素も多く、全体の把握は政府原案を待つことから。相当の取支不足が予想されるので、次期行財政改革計画の策定とも合わせて

事業運営の効率化、事業の重点化を図りながら、予算の効果的、効率的な配分を行い、さまざまな行政課題に対応してまいりたい。

問 松島水族館移転構想について

答 本市においてヒジターズ産業全体がもたらす経済効果は大変大きく、松島水族館の本市への移転構想に注目が集まっている。事業との関わり方について決断すべき時が迫っていると考え、いかがか。

問 現在、事業者と事業収支の見直しや運営体制等について協議を進めている。本市の出資については、事業者による最終的な事業計画や、今後の資金調達状況を踏まえ、運営体制等の確認を行った上で、一月中には一定の判断を

行ってまいりたい。

その他の主な質疑項目

- 市長公約である音楽ホール建設構想の取り組み
- 仙台駅周辺の交通結節機能の充実と東西連絡道路の拡幅
- あすと長町整備事業の現状と今後
- 新市立病院の外観と地下鉄南北線駅からのアクセス計画
- 介護老人施設の早急な整備を
- 新設児童館の運営と地域連携



新水族館の展示イメージ図 (提供: マリンピア松島水族館)

改革ネット・民

佐竹 久美子 議員

問 公算による指定管理者の変更への対応

答 指定管理者の変更については、選定委員会の委員の選定や十分な判断材料に基づいた選定作業など、厳正なものであるべきと考え、いかがか対応されたのか。

問 指定管理者は、対象施設の特徴などを考慮して選定された委員が、市民サービスの向上と効率的な運営が図られるよう、運営の

基本方針や事業計画、組織体制、経費などを評価し、選定を行っている。このたび指定管理者が従来と変更になったケースは、新たな自主事業や地域・関連機関との連携によるサービス実施等の新たな提案が評価されたものである。

問 今回の(仮称)宮城野区文化センター等新築工事の問題が、仮契約段階で相手方業者の問題が生じた場合の基準の強化について

答 指名停止などの措置を厳正公正に行うためには、その要件を事前に明示することも判断材料となる事実を的確に把握することが必要である。本年度指名停止にかかる要綱の細則を改正し、処分の

の要件の具体化を図ったところであり、今後とも確かな契約事務、指名停止措置の運用に努めていく。

問 (仮称)みやぎ環境・エネルギー導入には市民理解が不可欠

答 大学生については、ボランティアや就職支援セミナーなどを活用した重点的支援に努め、高校生については、地元中小企業

問 今回の(仮称)宮城野区文化センター等新築工事の問題が、仮契約段階で相手方業者の問題が生じた場合の基準の強化について

答 指名停止などの措置を厳正公正に行うためには、その要件を事前に明示することも判断材料となる事実を的確に把握することが必要である。本年度指名停止にかかる要綱の細則を改正し、処分の



(仮称)宮城野区文化センター完成イメージ図

代表質疑

公明党

小野寺 利裕 議員

問 人口減少が予想される中で人口増加誘導策の認識と決意

答 国全体が人口減少社会に突入しており、本市が人口増を目指すにはさまざまな課題があると認識しているが、子育て支援の充実

問 本市において、現在の都市インフラの有効活用と経済的効率性を踏まえて、将来人口減少が予想される中、どのような人口増加誘導策を行うのか、市長に伺う。

や仙台市都市圏を含めた企業誘致、地域産業の活性化に取り組むこともに歴史、文化、景観などの仙台の資源の輝きを増すことで人が集まり、定住に結びつけられるものと考えている。

問 世界的な経済不況の中、本市での雇用対策、中小企業対策、障害者就労対策

答 雇用対策と中小企業対策は、緊急的な雇用対策を確実に行うとともに、若者向けの新たな雇用対策を検討するなど地域経済の活性化に最大限努めたい。また、障害のある方の就労支援は、一般企業等における障害者雇用を促進するため、実習訓練や職場定着を支援する施策等の推進を図っており、今後さらに取り組みを充実・強化していく。



新総合計画の策定により人口増加誘導策を (写真提供: 仙台市観光交流課)

障害者就労対策をどのように進めるか伺う。

問 指定管理者の指定

答 雇用対策と中小企業対策は、緊急的な雇用対策を確実に行うとともに、若者向けの新たな雇用対策を検討するなど地域経済の活性化に最大限努めたい。また、障害のある方の就労支援は、一般企業等における障害者雇用を促進するため、実習訓練や職場定着を支援する施策等の推進を図っており、今後さらに取り組みを充実・強化していく。

社民党

小山 勇朗 議員

問 失業者等に対する仙台市独自の生活支援策を

答 仙台市独自に、失業者の心のケア、住居の提供、生活保護など、身近な場所での対応を。

問 ハローワーク等の関係機関の協力を得ながら、公的機関が閉庁となる年末に、本市独自の生活総合相談窓口の設置を検討している。

また、小規模地域活動センターをどのように支援し、実効性のある就労支援を行っていくのか。

問 精神障害者社会復帰施設は、平成二十二年年度までに障害者自立支援法に基づく新体系施設に移行するが、利用者や施設運営者に経済的なデメリットは発生しないのか。

答 新体系施設に移行すること、所得区分に応じ、利用者にとっての負担が生じるが、利用料の見直しにより通所系サービスの負担上限額が低減されたところである。小規模地域活動センターは、精神障害者の地域生活を支援する上で重要であることから、現行の補助水準を維持していく。



精神障害者生活訓練施設「ウィンディ広瀬川」(青葉区三居沢)

日本共産党

ふなやま 由美 議員

問 景気悪化の中で失業者や生活困窮者が増えている。年末に臨時開庁を

答 ハローワークや社会福祉協議会などの関係機関と連携して、求職中で困難している方を対象に

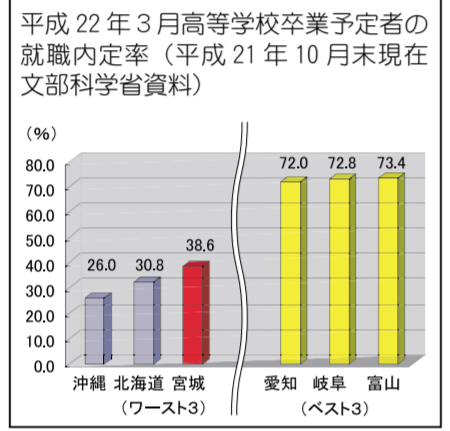
した生活の総合的な相談の実施について、開催場所や実施体制等を改めて検討しており、一人でも困窮者が減るように力を尽くしたい。

問 新規高卒者への就職支援を

答 宮城県の新規高卒者の就職内定率は全国ワースト3位で深刻な状況にある。必要な予算を確保し県の取り組みに上乘せ、拡大する市独自の支援策を実施すべき。

その他の主な質疑項目

- 路上生活者等支援のため、一時入居施設を設置すべき
- 新型インフルエンザワクチン優先接種者への無料接種の拡大を
- 保育所待機児童解決のため認可保育所増設と土地の無償貸与を



民主クラブ 仙

小野寺 健 議員

平成二十二年春に卒業予定の学生・就職未定者に対し支援を

問 経済不況による雇用情勢の悪化が、学生の就職活動に影を落として。大学生・高校生の緊急事態に対し何らかの対策を考へべきと思うが、いかがか。

答 大学生については、ボランティアや就職支援セミナーなどを活用した重点的支援に努め、高校生については、地元中小企業



宮城県信用保証協会へ円滑な中小企業者の資金調達への協力を要請する 奥山市長

このマッチングを行い、インターネット的に働きながら将来の正規就労へとつながるような支援策を検討するなど、最大限努力する。

問 (仮称)みやぎ環境・エネルギー導入には市民理解が不可欠

答 大学生については、ボランティアや就職支援セミナーなどを活用した重点的支援に努め、高校生については、地元中小企業

く求めるべきではないか。

問 超過課税は広く市民・県民の負担増につながるものであり、市民の皆様は十分ご理解をいたしたくとも、市町村に対して十分説明が必要と考える。県内市長会とも連携しながら必要な意見等を申し述べていく。

問 経営戦略会議との奥山カラーは

答 本市における「地球温暖化対策推進に関する条例」制定の考え

常任委員会 審議の概要

平成21年12月16日開催

委員会各名左の番号は、付託された議案番号

総務財政委員会

(第126・144号)

付託された二議案のうち、第百一十六号議案は賛成多数で、第百四十四号議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

○指定管理者制度について

○市カプ管の道路占用料について

○行財政改革の推進について

市民教育委員会

(第126・133・135・137・139号)

付託された七議案のうち、第百十三号議案・第百三十九号議案は賛成多数で、その他五議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

・(仮称)宮城野区文化センター新築等工事の本契約について

健康福祉委員会

(第126・128・130・140・141議案6号)

付託された七議案のうち、第百四十六号議案は賛成多数で、第百四十七号議案は賛成多数で、第百四十八号議案は賛成多数で、第百四十九号議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

○市営駐車場の指定管理者について

都市整備建設委員会

(第126・127・131・132・136・142・143・145号)

付託された八議案のうち、第百一十六号議案・第百三十二号議案は賛成多数で、第百四十二号議案は賛成多数で、第百四十三号議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

・市営駐車場の指定管理者について

○仙台北部中核工業団地等への幹線の運用開始について

○工事を進めてきた市ガスの大衡幹線(パイライン)が完成し、運用を開始することとなった。自動車関連工場等の顧客に順次供給していく予定である。

「J」は付託議案に関する質疑、「O」はその他の報告事項等